

ハンドボール

スローオフチーム 鹿児島県

(財) 日本ハンドボール協会公式記録用紙

No. 13
(16名用)

A	鹿児島県	広島県	B
	22	18	
審判サイン		7m TC	審判サイン
A 小森 隆			B 吉近 亮洋

大会名	第17回国民体育大会 女子ハンドボール		
平成	24年	10月9日(火)	場所 下呂交流センター
種別	成年	男 <input checked="" type="checkbox"/>	回戦 第 回戦 準決 <input checked="" type="checkbox"/> リーグ

A	鹿児島県		警告	退場	失点	チームタイムアウト	
	前半	後半				前半	後半
役員A	小森 隆	憲 友				16	00
役員B	藤 広幸二						
役員C	堂森 政治						
役員D	時任 直事						
1	張田 幸実子						
2	藤間 晴香美						
3	藤井 保奈美						
4	高橋 恵						
5	田中 美音子						
6	石井 宏央						
7	錦織 新						
8	山田 梨愛						
9	山野 由美子						
10	川崎 美穂						
11	山田 菜苗						
12	南 裕子						
合計		2	2			14	8

B	広島県		警告	退場	失点	チームタイムアウト	
	前半	後半				前半	後半
役員A	吉近 亮洋					23	25
役員B	吳 成玉						
役員C	佐野 綾子						
役員D							
1	堂面 紗子						
2	増田 寛那						
3	高橋 依奈						
4	石田 早紀						
5	大前 典子						
6	植田 真奈美						
7	新城 明奈						
8	塩見 綾香						
9	早川 志歩						
10	高橋 山						
11	中野 千尋						
12	田口 舞						
合計		4	1			2	10

タイムキーパー 島田 龍成 スコアラー 古田 博太郎

マッパルサイン 押野 隆也 審判員 押野 隆也 審判員 藤原 尚

前半				後半			
A	結果	得点	時間	B	結果	得点	時間
5		1	2:41				
			3:52	1	3	7	5
4		2	4:16				
7	W		5:01				
			5:21	2	7		
			5:37	3	2	5	16
2		3	6:07				
			6:46	4	10	6	10
9		4	7:10				
			8:30	W	5		
			9:34	5	2		
4	W		10:40				
			11:05	6	3		
9		5	11:45				
			12:10				
7		6	13:40				
			14:39	W	10	11	20
9		7	15:30				
			16:33				
9		8	17:41				
			18:39				
5		9	19:39				
			20:25				
7		10	21:15				
			22:15	7	2		
9		11	23:27				
9		12	24:39				
			25:12	8	10		
4		13	26:54				
5		14	27:54				
14				8			

特記事項

ハンドボール

結果報告

ぎふ清流国体ハンドボール競技

No.12

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月9日(火)	試合記号	Er	回戦	3位決定戦
種別	成年女子	会場	下呂市交流会館		
A(都道府県名)			B(都道府県名)		
鹿児島県			広島県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
22	14	前半	8	18	
	8	後半	10		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【戦評】

記載者氏名 鈴木 隆

準決勝で惜敗した鹿児島県と広島県との3位決定戦。両チームとも必勝を期するところが高い対戦である。広島県のスローオフで試合開始。両チームとも6-0のディフェンスをとり、互いに攻めあぐむ中、均衡を破ったのは2分35秒、鹿児島県5番田中のカットインシュート。4分相手のキャッチミスから広島県3番高橋が速攻を仕掛け同点。15分過ぎまで広島県は速攻やクイックスタートを武器に攻撃、鹿児島県はセットからカットイン、ミドルシュートを主体に攻撃。5対6のロースコアで一進一退のゲーム展開。1点差を追う鹿児島県は、絶妙のタイミングで16分過ぎにタイムアウトをとる。その後、セットからポスト7番錦織へのパスが連続して通る。さらに、9番山野、5番田中のカットインプレー、7番錦織の速攻と5連続得点。10対6と逆転する。広島県も流れを変えようとタイムアウトをとるが、鹿児島県の攻撃は止まらず、9番山野の連続得点でさらに差を広げ、14対8で前半を終える。

後半、互いのゴールキーパーを含めた堅い守りで得点が伸びず、ロースコアで展開。11分過ぎ鹿児島県6番石井の退場の間に広島県9番早川がサイドから、連続得点。10番高山の速攻で4点差まで縮めたが、その後もゴールキーパーの好セーブもあり、一進一退。22対18で鹿児島県が3位決定戦をものにした。前半のリードが勝敗を分けた一戦であった。